

日本古来の画材を用い
東郷の自然や四神を描く

東郷高校美術コースの生徒が、富士浅間神社の天井画を制作。12月21日に第一期の画が奉納され、参拝される皆さんにお披露目となります。これは「より地域の人に親しまれてほしい」という思いや、富士浅間神社と東郷高校のつながり、そして美術コースを担当する先生たちの指導で実現しました。

「高校生が神社の天井画を描けるなんてすごいこと。何百年と残る画なので、一人ひとりが责任感を持って取り組んできました」と先生は語ります。



「神聖で誇らしき気持ちです」「できる限り丁寧に細かく描きました」と振り返ります。

大学、名古屋芸術大学の日本画の先生の協力も得られました。野の草花や蝶といつた東郷町の自然と神紋や四神を、生徒たちが丁寧にかつみずみずしく表現。「神聖で誇らしい気持ちです」「ぶんきる限リ」寧に田かく描キ

生徒たちは富士浅間神社へスケッチに行き、描きたい王チーフを選定しました。

PROFILE ▶▶ 東郷高等学校 美術コース

県内で唯一、普通科の中に美術コースがあり、2年生から選択が可能。全国の国公立・私立の芸大・美大・教育大への進学を目指し、将来、教員などの指導者や、芸術文化の発展に寄与できる人材の育成を目標とする。美術コースは、1年生では一般教科に重点を置き、基礎学力を身に付ける。2年生でも一般教科を学習しながら、週5時間、絵画やデザインの基礎を学ぶ。3年生では絵画とデザインに専攻を分け、週10時間、個々に必要な美術の力を身に付ける。1年生の間は美術部に入り、技術を磨き、2年生からの美術コースに備える生徒も多い。